

平成20年度

# 福智町音楽祭

music festival in Fukuchi

うたがき 歌垣の町～歌と音楽の祭典♪

♪ 日時 **2月15日** 開場:13時  
開演:13時30分

♪ 場所 福智町同和対策研修センター (福智町赤池970番地4)

## 第1部

### 町内合唱団コンサート

ふくちの歌声～ステージで響き逢う♪



① 方城老人大学コーラス教室



② グリークラブカナダ



③ ムジーク・ブラッツ



④ ベル・アルモニア赤池

## 第2部

### 田中 健 コンサート

ケーナへの誘い～悠久の響き♪



## 田中 健

【たなかけん】氏

昭和26年福岡県筑後市生まれ。昭和47年に歌手としてデビュー。昭和49年からは俳優として活躍し「青春の門」「俺たちの旅」で脚光を浴びる。以降数々の主演作品に出演。また昭和58年に南米発祥の縦笛「ケーナ」と出会い、平成2年にはケーナ奏者としてもデビュー。「ユーラシア」など5枚のアルバムをリリースし、現在も幅広く活躍している。

入場無料

♪ 主催 / 福智町・福智町教育委員会 問 福智町中央公民館 ☎ 28-4100

### 町長日誌

▼今年、例年より一日遅い1月5日が、役場の仕事始めだった。議員や職員が参加して、10時から始め式を行ったが、私は年頭の挨拶を、ロシアの文豪ゴリキーの仕事観を引用して終えた。「仕事が楽しみならば、人生は楽園だ。仕事が義務ならば、人生は地獄だ」と考えていた彼の思いに共感するところがあったからである▼言うまでもなく、私達公務員は、住民の福祉の増進に努め、住民生活の安定を図るという義務を負っている。しかし、ゴリキーの言う義務は、不承不承ながらやらなければならないという受け身の(消極的な)意味だと理解している。前述したように、私達には公務員としての義務があるが、これは住民や地域のために尽くすという能動的(積極的)な意味での義務であるのは言を俟たない▼人生の半分近くを公務員という職業に身を置く人は、天職と自覚し、公に献身しなければならぬと思う。もし、仕事が苦痛だと考えていたり、公に尽くすという情熱のない人がいたら、職を変えたほうが賢明だろう。また、自分の人生が不幸で苦渋に満ちたものであつていいと願う人は、誰一人としていないと思う▼ゴリキーの言をかりるまでもなく、自分自身の人生を楽園とするためには、不断の意識改革により、自らの仕事を楽しみに変えていく努力と工夫が欠かせない。そのような思いを行政全体で共有し、少しでも仕事が楽しいと感じられるように、職員一丸となって頑張っていきたい。

浦田 弘二